

点検評価表（県出資25%未満の株式会社）

1 団体の概要

（令和3年4月1日現在）

団体名	エスアールエル・静岡がんセンター共同検査機構株式会社		
所在地	駿東郡長泉町下長窪1007	設立年月日	平成30年9月10日
代表者	代表取締役 平林 庸司	県所管課	がんセンター局
事業内容	・臨床検査及び研究検査等の受委託業務、管理業務及び支援業務 ・医薬品、臨床検査薬等に関する試験の受託業務 ・創薬ターゲット・バイオマーカー探索の支援業務		
団体ホームページ	https://srl-scc.co.jp/		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
株式会社エスアールエル	350,000	77.8
静岡県	100,000	22.2
基本財産(資本金)計	450,000	100.0

2 行政施策との関係

(1) 団体活動に関する行政施策の目的

・静岡県民をはじめとする多くのがん患者さんの医療の質の向上

(2) 上記を代替・補完する団体活動の概要

・静岡がんセンターが(株)エスアールエルと取り組んできた共同研究「プロジェクトHOPE」による遺伝子パネル検査や開発中の全ゲノムシーケンスを中心とした臨床検査 ・将来の臨床応用が見込まれる新技術の開発

3 点検評価（県所管課記載）

点検項目	県所管課意見				
① 県の出資の必要性が、現在の社会経済環境において認められるか	臨床と研究開発及び検査・解析業務が一体化され、環境変化と技術進歩が著しいと言われるゲノム医療分野において、遺伝子診療上のニーズに迅速かつ的確に対応し、いち早く正確な診断と治療を提供することが可能となる。				
② 県からの補助金、委託金等の支出について、必要性、有効性が認められるか	プロジェクトHOPEの研究成果を遺伝子パネル検査や全ゲノムシーケンスに結びつけるために行う委託業務であり、遺伝子パネル検査の開発・普及及び全ゲノムシーケンスの早期検査開始を実現することで、静岡県民をはじめとする多くのがん患者さんの医療の質の向上に資するため。				
		H30決算	R1決算	R2決算	R3予算
	県支出額(千円)	559	24,898	134,698	105,600
③ 県からの職員派遣について、必要性、有効性が認められるか	該当なし				
		H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
	県派遣職員数(人)				

4 経営上の課題・改善に向けた取組の方向性

・信頼性の高いがんパネル検査を安価で提供することによって、パネル検査の受注件数を増やし、経営の安定化を図るとともに、全ゲノムシーケンスの早期検査開始により、需要の拡大を図る。

・患者さんごとのがんへの罹りやすさ、薬の効きやすさなど、患者さんの体質を踏まえたがん治療を進めるためのがんゲノム検査の先進技術の開発にも取り組む。

・遺伝子関連検査を行うラボラトリーとして最も権威のある第三者認証(CAP-LAP認証)を令和2年7月に取得したことを契機として、治験や臨床研究などの解析及び受託の機会の拡大を図り、医療・患者さんの治療に貢献していく。